



南町小だより

つよく かしく あたたく

平成29年4月28日

校長 福田 俊彦

代表委員会の活動を・・・よりよい学校生活を創る基盤とする

校長 福田 俊彦

桜からツツジ、みずひきへ。自然の美しさを感じ続けられる南町小学校の5月です。新たな環境で過ごすお子さんの様子はいかがでしょう。

さて、昨年度の代表委員会では、子供たちがめざす学校の姿として「色とりどりの明るい笑顔があふれる学校」をテーマに決め、よりよい学校生活を創ってきました。今年度の代表委員会ではこのテーマを受け、今年度のテーマを「一人一人が支え合いありがたいの気持ちを大切に作る学校」にしたいと決めました。このテーマの言葉に込められた5年生、6年生の話を聞きました。

「ありがたい気持ちを大切にすることは、一人一人が互いを支え合うことにつながります。つながったところではありがたいが生まれます。ありがたいの連鎖が起こり、よりよい学校になっていきます。」

「南町小学校の屋上には、『ありがとうを届けます』があります。ありがとうという基本的なことを見直すことでよりよい学校が創れます。」

「南町小学校は人権尊重教育校です。いろいろな人に感謝をすることは、人を大切にすることになり、よりよい人との関係を築くことができます。」

「ありがとうを伝えた側も、伝えられた側もうれしくなります。そこに笑顔が増えていきます。」

「私たちがありがとうを広めていくことで、周りの人達もありがとうを大切にしてくれるようになります。」

「ありがとうを広げる思いが、今年だけでなく来年へもつながっていくようにしたいです。」

これから代表委員会の子供たちは、よりよい学校生活、よりよい友達関係をめざし、各活動の中で、このテーマについて全児童に伝えていきます。全校朝会で、放送で、代表委員会新聞で。子供が子供に語りかけること、子供が子供の言葉で伝えていくこと。そこには、大人が入らなくても、自分たちで決めたことに向かっていく力が発揮されることがあります。自らの言動から生まれた力は本物です。本物ですから相手の心を揺り動かします。子供が、ありがたいの連鎖という言葉を使っていました。心をよりよい思いへと揺り動かす連鎖のことでしょう。平成29年度も、南町小学校では、子供の、子供による、子供のための活動が展開されていきます。私たちは、子供の活動にしっかりと寄り添いながら、その姿に言葉かけをしていくことが役割となります。

地域、保護者の皆様、これからも子供たちの活動に向かう力に、ご理解とご支援をお願いいたします。